

# 議会だより

祝 入学おめでとう



4月6日 福田小学校入学式

## 《3月定例会》

- 定例議会の概要 …… 2～6
- 町政を問う …… 7～12
- 議会傍聴 …… 13
- 常任委員会レポート …… 13～15
- ようこそ新地町へ …… 16

3月  
定例会

3月定例会の  
あらまし

令和8年3月定例会は、3月6日から19日までの14日間の会期で開催され、町長から提案された人事案件や条例改正、一般会計・特別会計当初予算など18議案を審議し、原案どおり可決しました。

前年度比  
4億670万円  
(7.0パー)減

議会では、予算の重要性に鑑み、慎重に審議を行うため、予算特別委員会を設置した。  
委員長に寺島浩文総務文教常任委員長、副委員長には大内広行総務文教常任委員長副委員長を選出し、3月6日から16日まで予算審査を行った。



▲予算審査特別委員会の様子

各課より詳細な説明を受けて徹底した議論を重ね、慎重に審査した。

その結果、予算特別委員会に付託された令和8年度一般会計、国民健康保険特別会計など5つの各予算を原案のとおり可決すべきとした。

「まち しんち」を実現するための「5つのまちづくり」に沿った事業に取り組んでいく。一般会計当初予算の主な事業は次のとおり。

第6次新地町総合計画で新地町がめざす将来像「安心して暮らせる 活力ある

# 令和8年度一般会計 54億1430万円

## 第6次総合計画後期 スタート

### 快適で活力あるまちづくり

- 結婚新生活支援事業 180万円
- 海の幸を活かした交流促進事業 616万円
- 農作物等鳥獣被害対策事業 652万円

### 災害に強く安心安全なまちづくり

- ハザードマップ更新事業 500万円
- コミュニティバス運行事業 2742万円
- 生活ごみ収集運搬処理 4913万円

### 健康で元気なまちづくり

- 健康づくり事業への民間プログラム活用事業 120万円
- 高齢者見守り事業 400万円
- 障がい児支援事業 1540万円

### 未来につながるまちづくり

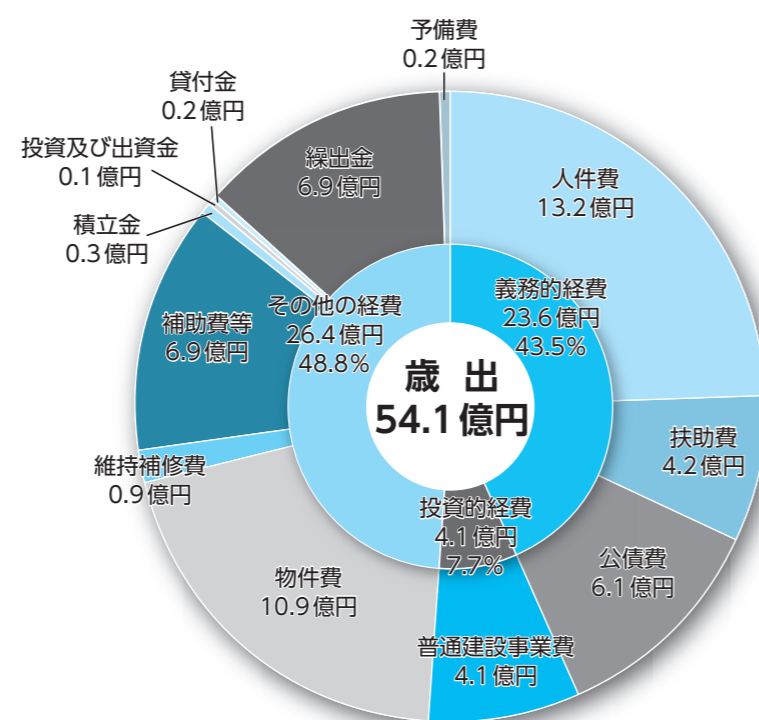
- 保育料軽減助成金 169万円
- 学校給食無償化事業 4479万円
- 学校ICT推進事業 7169万円

### 住民力を活かすまちづくり

- 戸籍総合システム更新費 224万円
- 自治体情報システム標準化・共通化移行業務 1億3727万円

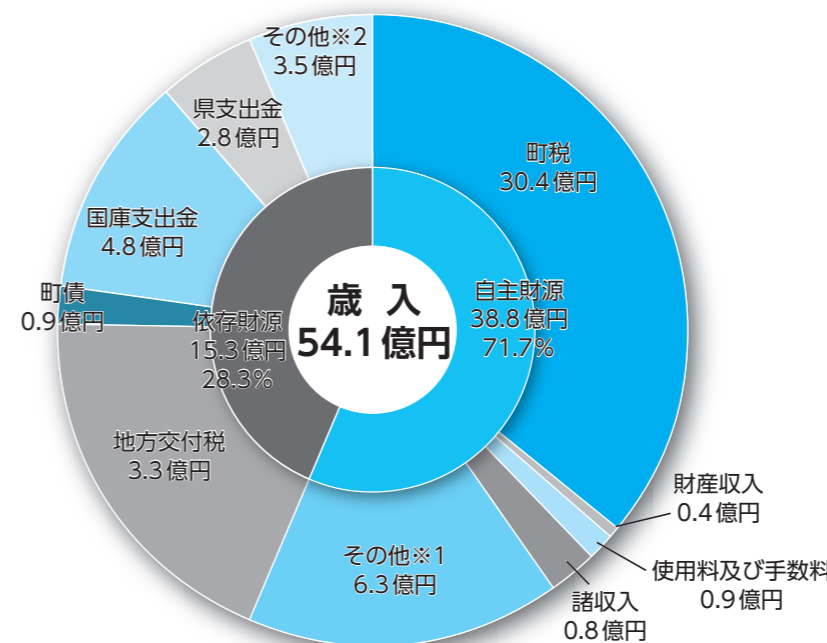
#### ◆用語解説

- 【義務的経費】支出が義務づけられ、任意に削減できない経費
- 【投資的経費】施設など、財産として将来に残るものにかかる経費
- 【普通建設事業費】公共施設や道路などを整備するための経費
- 【物件費】光熱水費、各委託料、備品購入費などの経費
- 【補助費等】個人や任意組織に対する補助金などの経費
- 【繰出金】一般会計から各特別会計に支出する経費
- 【積立金】財政調整基金や各種特定目的基金に積立するための経費



#### ◆用語解説

- 【自主財源】町が自主的に収入する財源
- 【依存財源】国や県から定められた額を収入する財源
- 【町税】町民税(個人・法人)、固定資産税(土地・家屋・償却資産)、軽自動車税などの納税いただいたお金
- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国・県支出金】事業の財源として使い道が決められた国や県から交付されるお金
- 【町債】公共工事などを行うため国および金融機関から借りるお金
- 【その他※1】寄付金や繰越金など
- 【その他※2】地方譲与税や各種交付金など



議会の意見(抜粋)

令和8年度予算は、「第6次新地町総合計画後期計画」の初年度となる予算である。急激な物価高騰やエネルギー価格の高騰等を踏まえ、町民に寄り添った的確な支援に努められたい。総合計画後期計画の事業の実施にあたっては、明確な数値目標を設定し、達成度の量化による的確な事業推進に努力されたい。

令和8年度一般会計予算

○歳入
・国や県が計画する各種事業を踏まえ、補助事業や新たな事業、制度の情報収集に努め、更なる財源確保を図られたい。

○歳出

1 地域公共交通「しんちゃんバス」は、利用者のニーズ、課題を的確にとらえ、早急に抜本的な改善を図られたい。
2 イノベーション・コースト構想の取組みを活用

し、企業誘致等の推進に努められたい。
3 ハラスメント防止等について各種研修等を通じ、啓発に努められたい。
4 自治体情報システムの標準化移行にあたっては、事業運営も含め国の補助等を活用し、ランニングコストの低減を図られたい。

令和8年度国民健康保険特別会計予算

1 健康増進や予防医療の充実を図り、国保税の更なる軽減に努められたい。
2 新たな「子ども・子育て支援金制度」について、詳細な情報収集に努め町民に対して適切な情報提供を図られたい。

令和8年度介護保険特別会計予算及び令和8年度後期高齢者医療特別会計予算

・各制度の確な運用に努め、負担軽減を図られたい。

会計別当初予算額

Table with 4 columns: 会計別, 令和8年度, 令和7年度, 比較. Rows include 一般会計, 国民健康保険, 介護保険, 後期高齢者医療, 合計.

Table with 4 columns: 下水道事業, 令和8年度, 令和7年度, 比較. Rows include 収益的収入及び支出, 収入, 支出, 資本的収入及び支出, 収入, 支出.

7 観光・文化事業の展開にあたっては、交流人口拡大と共に、その効果が後年度にわたる新たな企画を検討し取組まれたい。
8 福祉に係る各種事業の展開にあたっては、関係機関の連携を密に事業の推進を図られたい。

陳情(3月定例会)

議会では、地域住民より直接の声となる、請願、陳情、要望等を受付けています。今定例会では、下記のとおり受付ました。

Table with 4 columns: 件名, 提出者, 審査結果. Rows include 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書, 再審法(刑訴法の再審規定)の改正を求める陳情, 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出を求める陳情書.

予算審査
こんな質問が



Q ハザードマップ更新を8年度で計画しているが、現在のものはいっ作成したものか。

A 現ハザードマップは令和元年に作成したもので、その後指定された土砂災害危険区域、洪水浸水想定区域などを反映させるため計画している。

Q 保育所費の保育料軽減助成金169万2千円は何人分か。

A 47人を予定している。

Q 教育関係で新規に健康ウォーク事業を進めるとしているが、どのような内容で考えているのか。

A スポーツ推進員と連携して健康と交流を図り、生涯スポーツの普及啓発を進めるもので、多くの町民が参加し、楽しみながら健康づくりを推進するもの。開催は10月頃を考慮しており、子どもから高齢者までを対象に5キロ、10キロコースを設定し、今のところ、緑地公園を歩くことにしている。

Q 文化交流センター費の工事請負費の内容は。

A 文化交流センターの冷房機器交換修繕であり、去年夏にあった冷房が中々きかない状況を解消するもの。

Q コミュニティバス事業は、2700万円余で、昨年度より大幅に予算が削減されたが、どのような運営を考えているのか。

A 日祝日など7年度より39日の営業日圧縮を考慮しており、便数の削減も進めることにしている。利用状況を見ながら、年度内のさらなる変更も考慮し、運営していきたい。

Q 熊対策に盾、ヘルメット、わなを考えている。

A 熊対策に盾、ヘルメット、わなを考えている。

Q 鑑賞教育推進事業はどのような内容か。

A 美術館や博物館を訪れ、実物の作品などに触れる鑑賞体験を通して、豊かな感性、創造性を育むとともに、歴史、文化、芸術への理解を深めるもので、福島県美術館で開催されているゴッホ展を考えている。

Q 赤字により、総額で1500万円の要求があり、広域市町村圏で負担するもので、南相馬市25%、相馬市60%、新地町10%、飯館村5%として今年度限りとした。

Q 高齢者向けの運転免許証自主返納奨励費はどんな内容か。

A 高齢者が運転免許証自主返納した場合、申請により500円のしんちゃんタクシー券33枚、1万6500円分を呈するもの。

Q 地域づくり推進事業費の花いっぱい運動支援補助事業の内容は。

# 議案

## 人事

固定資産評価審査委員に  
荒 泰教氏(再任)



荒 泰教氏

引き続き適任者として選任され、全員賛成で同意した。任期は令和8年4月1日から3年間。

## 総合計画

### 第6次新地町総合計画基本構想の変更

第6次総合計画後期基本計画の策定にあたり、将来指標等の見直しを行うため、基本構想の変更について議会の議決を求めるもの

## その他の議案

議案第6号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第8号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第9号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第10号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第11号	東日本大震災等による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	
議案第12号	道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	
議案第13号	公の施設の指定管理者の指定	
議案第14号	令和7年度新地町一般会計補正予算(第7号)	
議案第15号	令和7年度新地町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	
議案第16号	令和7年度新地町介護保険特別会計補正予算(第2号)	

## 議員発議

### 議会改革推進特別委員会の設置

委員長 水戸 洋一 議員  
副委員長 大内 広行 議員

### 設置の趣旨

地方議会においては、二元代表制のもとで、住民の代表機関、地方自治体の最終意志決定機関として、審議機能・監視機能さらには政策形成機能を十分に発揮し、町民の負託に応えるため、これまで以上に議員活動を積極的に展開していくことが必要である。

このため町議会は、地方議会の果たす役割の重要性が増す中で、議会活動の充実・強化及び議会の公開性や議会への住民参加を軸とした方策を検討することを目的とした「新地町議会改革推進特別委員会」を新たに設置し、調査検討を行うものである。

## 臨時議会

1月28日に開催され、町長から提案された専決処分1件、変更契約1件、補正予算1件について審議し、原案の通り承認、可決した。

### 専決処分の承認について(一般会計補正予算(第6号))

衆議院議員総選挙に係る補正予算を時間的余裕がなかったことから、地方自治法の規定に基づき専決処分し議会の議決を求めるもの

### 藤崎排水機場2号ポンプ整備工事請負変更契約

ポンプ設備の交換部品の追加により、増額の変更契約を締結するため

### 令和7年度一般会計補正予算(第6号)

主な歳出の内容は、食品価格高騰対策緊急支援金、事業者緊急支援補助金などに対応するもの

## ただここを質す!

# 町政を問う

## 一般質問

今定例会の一般質問は、3月17日、18日に行いました。議員5名からは13件の通告があり、通学路の安全確保やごみ収集所の増設、町内のデジタル化などについて質しました。各議員からの質問内容は、左記のとおりです。以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

## 5名の議員が質問

寺島博文 議員 P8  
1 通学路の安全確保について  
2 高齢者支援について  
3 教育関係について

牛坂毅志 議員 P9  
1 農地の保全管理を目的とする農林水産省の交付金について  
2 ゴミ収集所の増設について  
3 役場庁舎の入り口に「案内」等の表示について  
4 遊休農地、耕作放棄地の利活用について

井上和文 議員 P10  
1 駅前配管お湯漏れ事故について  
2 対話の町政推進について

よし田ひろし 議員 P11  
1 町内のデジタル化について  
2 町職員の採用について  
3 降水量減少による対策について

おお内ひろゆき 議員 P12  
1 DXの取組みについて



寺島博文 議員

## 駒ヶ嶺町交差点の安全確保を

### 回答 視認性の高い安全対策

**問** 駒ヶ嶺字町地内交差点の、一灯式信号機を撤去するというのが出ている。朝の通勤時間帯は、特に交通量も多く、小・中学生の通学路でもあり、事故が懸念される。町は、三灯式信号機設置を公安委員会に強く要望すべきだ。

**回答** 通常の信号機の場合、青色点灯時は、今より通過速度が上がり、かえって危険度が増す懸念もある。信号機設置の有無にかかわらず、視認性の高い一時停止標識や、警戒標識・路面標識などの安全対策を実施する。

**問** 三灯式信号機を設置し、通常通りの青色点灯で使った場合、危険なのはわかるが、赤色、黄色の点滅にすれば現在と同じ安全が確保出来るのではないか。

**回答** 三灯式信号機で、夜間における点滅は見たことはあるが、昼間の運用については知見がないので、今後研究したい。



▲安全対策が求められる交差点

### 高齢者支援について

#### ①シニアカー購入費補助

**問** 毎年25人前後の高齢者の方が、運転免許証を自的に返納している。

**回答** 運転免許証返納者には、新地町タクシー助成事業の利用券33枚を交付している。利用者からは好評を得ている。

シニアカーについては、他自治体の助成制度や、シニアカーの安全性も含めて今後調査・検討していく。

**問** 高齢者の方は好きな時間に自由に外出したい。

町独自の補助制度を検討できないか。

**回答** 今後免許証返納時にシニアカーについての意見を伺って、調査をしたい。

#### ②補聴器の購入費補助

**問** 高齢者の難聴者に対し、補聴器購入における補助制度を新設すべきだ。

**回答** 国の制度の中で、補聴器購入における補助金について、研究・分析する

### 教育関係について

#### ①いじめについて

**問** 昨年末から今年にかけて、暴行動画が拡散し、加害生徒が、逮捕されるなど、大きな社会問題になっている。

当町の実態と生徒指導の取り組みについて伺う。

**回答** いじめ認知件数は、経年で見ると、減少傾向にある。生徒指導の具体的取り組みは、ICTツールを活用し、いじめに関して、毎月調査し、年2回、交友関係調査を実施。いじめの早期発見、早期対応に努め

ている。

#### ②不登校について

**問** 不登校児童の実態と、不登校児童を無くす取り組みについて伺う。

**回答** 不登校児童の実態について、本年度、小学校が3人で0.76%、中学校が12人で5.6%。全体で、15人2%である。

福島県の平均は、小学校1.8%、中学校6.6%、小中平均4.4%と比較すると、県平均を下回る水準にある。

主な取り組みは、ICTを活用し、タブレット端末で児童生徒が心の健康状態をチェックする。

担任・専門家（スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー）が情報を共有し、早期発見、対応をしている。家庭訪問を実施し、子どもたちの悩みや課題解決に向けた支援を行っている。

中学校には、スペシャルサポーターームを設置し、生徒の居場所を確保している。

## ゴミ収集所の増設は

### 回答 地区の状況等を確認し検討



牛坂毅志 議員



▲新設されたゴミ収集所（杉目地区）

**問** 町民の高齢化に伴い、ゴミ当番の負担軽減、車の免許返納者や働いている単身者への配慮など必要と思うが、町の考えを伺う。

**回答** これまでも、地区からの要望等により、ゴミ収集所を増設している。今後も、町内全体及び地区のゴミ収集の状況等を確認し、地区とも相談しながら、収集所の増設について検討する。

### 農地の保全管理を目的とする農林水産省の交付金について

**問** 町民にどのような周知、指導しているのか伺う。

**回答** 現在、町としてはホームページにおいて概要を公表している。これまで町内全地区において、保全会設立に向けての説明会を行い、現在10地区において設立している状況である。

**問** 町民の負担が軽減できるようなものか、町の考えを伺う。

**回答** 機械では難しい場所の草刈りや堀払いなどの維持管理等については、どうしても人の手が必要となるため、地域住民の協力による保全活動が必要であると考えている。

### 役場庁舎の入り口に「案内」等の表示について

**問** 町外から役場庁舎に来られた時「案内」等の表示があれば、わかりやすいと思うが、町長の考えは。

**回答** 役場入口にある案内板は、各フロアの配置図

や文字が小さく、課名のみの表示となっている。高齢者や初めて役場にいられた方には分かりづらいものになっているため、今後、設置を検討する。



▲わかりやすい庁舎案内板の設置を

### 遊休農地、耕作放棄地の利活用について

**問** 農業政策があるのか町の考えを伺う。

**回答** 遊休農地を耕作できるようにするための「遊休農地等再生対策支援事業」があり、補助率1/2で、200万円未満までの事業費に対応可能、相談があった際において情報提供しているが、活用には至っていない。



井上和文 議員

# お湯漏れ事故対応を万全に

## 回答 施工業者責任で対応する

**問** 昨年3度の連続するお湯漏れ事故の原因は判明したのか。調査に1年もかかっている背景は。

**回答** 昨年の3月20日に複合商業施設北側で熱導管温水供給パイプからの漏水事故があった。復旧工事とともに管製造メーカーと施工業者に部材を持ち帰り、原因究明の調査を依頼したが、8月1日の中間報告では解明せず、6月13日に熱導管バイパス構築工事を行った。12月17日の調査結果報告でも原因が特定できず、本年2月13日に「継ぎ手補強部のアラミド繊維の巻き付け」について現場施工不良の可能性が高い、という報告がされたので、今後その詳細について追及していく。時間がかかったのは、こういった事故の類似事例がないということと、アラミド繊維の施工不良と判断するのに1年かかった。

**問** 調査は終了したのか、また、損害額はいくらか。

**回答** 漏水事故の復旧工事費は施工業者負担であり、町が支払ったのは、埋め戻し工事約78万円、パイプ工事費165万円、布設替え、安全対策用仕切弁設置825万円、総額約1068万円、町以外で把握しているものは、スマートエナジー社が電気、ガス、水道代で約340万円、ホテル温浴施設が営業補償等で約700万円となっている。

**問** 施工業者、設計業者等とも、現場施工不良という内容的には了解している。現在、文書をまとめ費用請求、賠償請求等事務作業をしている段階である。

**回答** バルブが一つしかないので、修理までの間、運転を継続しお湯を出しっぱなしにせざるを得なかった。なぜバルブが一つだけの設計だったのか。第三者委員会を立ち上げ今後の対策を万全にすべきだ。

**問** エネルギーセンターが供給している冷温水は口径150ミリから65ミリまで延長約1200メートルで、管内圧力は約500〜400キロパスカル、温水温度は、往路65度、復路55度で、圧力温度とも急激な温度変化もなく、安定した運転を行う設計となっているため、最小限の仕切弁設置となっているようだ。また、設計、施工業者、管製造メーカー、町、スマートエナジー社の関係企業が原因追及、検証を行ってきたおり、その間、第三者による調査の必要性も協議してきた。その中で、施工不良の可能性について集中して調査するとともに、施工業者に65ミリ部分は、ポリエチレン管から鋼管に替えてもらうよう進める。費用負担、賠償も協議し、記者会見や謝罪についても今後の処理の中で協議していくため、第三者委員会は現時点で考えていない。

### 対話の町政を

**回答** 意見を踏まえ検討

**問** 総合計画では住民力を活かすまちづくりがうたわれ、その一環として町政懇談会が開催されている。2時間の開催時間のうち1時間30分ほどが説明になっており、町民の説明時間が足りないのではないか。資料の事前配布、若者、女性、ハンデを持つ方々への多様な意見を聞く取り組み、各分野ごとの懇談会等の改善をしていくべきだ。また寄せられた意見を分析・周知し、町民の関心や共同のまちづくりに活かすべきだ。

**回答** 過去には町内3地区で開催していたが、現在は1か所での開催で、約100名前後の皆さんに参加している。町民が質問しても回答がないということのないようにホームページに載せることやご意見を参考に今後を活用していく。



吉田 博 議員

# 町内もデジタル化へ

## 回答 8年度までに標準化を図る

**問** 町内小中学校のICT化は進んでいるが町民生活や他の事業者等のデジタル活用は進んでない。ICTとデジタル化の均衡を図るべきでないか。

**回答** デジタル技術を活用したサービスは令和5年3月に「新地町DX推進ビジョン」を策定し、誰も取り残さないデジタル改革を目指し、「マイナンバーカードを活用した戸籍証明」や、「わかりやすく学ぶデジタル教室」及び住民記録や地方税、福祉など、国の標準仕様に準拠したシステムの移行を進めている。



▲ICT授業風景

**問** 町として今後行政サービスのデジタル化に向けた具体的な計画をすべきと思う。町長の考えを伺う。

**回答** 町としては住民サービスの利便性向上につながる事業を優先し職員研修と業務改革を一体で進めることにより、実効性のある行政デジタル化を進めていく。

### 町職員の採用について

**回答** 組織規則の定めにより採用している

**問** 町内新卒者の就職内定調査を行っているのか。

**回答** 町独自の調査は行っていないが、福島県の調査結果では相双地区で就職希望者172名のうち内定者は168名で内定率97.7%となっている。

**問** 町職員採用で、障がいのある方の雇用が少ないのではないか。

**回答** 障害者雇用促進法で定められている当町の法

定雇用率は2.8%で、3名雇用が必要となっております。現在2名の雇用にとどまっています。会計年度任用職員の採用時に障がいのある方が応募しやすくなるような環境整備を行いながら、雇用を進めたい。

**問** 他の自治体においては新卒だけではなく、人物重視や中途採用を行っているところが増えているが、町で行っている高卒採用と大卒採用の職務分担の違いは何処にあるのか伺う。

**回答** 高卒採用と大卒採用での職務分担の違いはなく、新地町行政規則において、定められた係(こと)に、どの業務を担当するかを職員ごとに決めていく。

### 降水量減少の対策は

**回答** 例年と変わらぬ貯水量はある

**問** 全国的な雨不足により各地で給水制限が起きているが、町として町民が必要としている水対策を講じているのか伺う。

**回答** 貯水量調査では、松ヶ房ダムは81.2%、鴻ノ巣ダム64.6%の貯水量で例年と変わらない貯水量となっている。



▲鴻ノ巣ダム「貯水率 64.6%」



大内広行 議員

# D X推進ビジョンの成果は

## 回答 実効性の高い計画で着実に

**問** 「新地町DX推進ビジョン」の成果と今後の取り組みは。

**回答** 町では「デジタルでみんな便利に、誰も取り残さないデジタル改革」を基本理念にDX推進に努めている。その成果は、第一に、国の自治体DX推進計画に基づく基幹システムの標準化に向けた移行準備・整備を行っており、制度改正の迅速対応、将来コスト抑制、セキュリティ強化等行政運営の基盤整備を進めている。第二に、マイナカードの普及促進とコンビニエンスサービスの環境整備、第三に、情報セキュリティの強化、第四に、DX推進本部を中心とした各課の連携による、現場に即した改善の推進、第五に、スマホ教室やパソコン教室の開催、デジタルと対面を組み合わせたサービスの提供を進めてきた。

今後は、これまでの取り組みを柱に、住民サービス向上と業務の効率化の両立を図り、地域の実情に即したDXを着実に進めていく。

**問** BPR（業務改革）の取り組みについて、具体的にどんな業務の改善に取り組んでいるのか、進めるための課題は何か。

**回答** 押印廃止に向けて取り組みを進めており、例規の確認、各種様式の見直しを進めている。課題としては、まず職員

のDXに対する意識を高め、研修として情報セキュリティに関するリモートラーニングを導入した。今年度の実施率が8割程度のため、実施率を高めていく。

**問** DX推進のための意識改革で考えていることは。

**回答** 生成AIを導入している。使用しているのは2割程度であり、もっと使用割合を増やしたい。そのためにも研修後にデジタル技術を認識したうえで、各事業にデジタル技術を使つた事業を進めていく。

**問** デジタル化を進めるために、業務改善提案制度を作り、職員の意識向上を進めてはどうか。

**回答** 令和8年度には基幹業務の標準化が完了する見込み。情報セキュリティ等のハード・ソフト面の取り組みを進めて行く。その中で検討を進めていきたい。

**問** 生成AIの活用もDX推進として必要だが、どのような業務に活用しているのか。

**回答** 生成AIは、「コモンズAI」※を導入している。文書の作成、資料の収集、研究事例の収集等多岐にわたり使用可能である。セキュリティ教育を受けた職員に限っての利用はあるが、全庁で活用を進めていく。

**問** ペーパーレス化はどのように進めているのか。

※Polimill株式会社が提供する、自治体業務に特化した複数の高機能生成AI群の総称。全国の自治体の議会議事録や行政情報など、国内最大級の行政文書知識を基に開発されたもの。

# 議会傍聴

## 議会を傍聴して

【新地地区在住 40代女性】

初めて議会を傍聴し、一般質問では様々な視点から執行部に問いかける議員の皆さんの発言力もすごいと感じました。新地町をより良くしようとする姿勢を直接感じる事ができ、貴重な経験となりました。

住民サービス向上のために、防災無線のデジタル化やDX推進などの取り組みを進めていることを知ることができた一方で、HP等を活用した情報発信は、さらに充実の余地があると感じました。今後も都合が合えば、議会傍聴を試してみようと思います。

【駒ヶ嶺地区在住 30代女性】

新地町議会の一般質問を傍聴し、子どものICT教育に加え、DX推進ビジョンのもと住民のためのデジタル化を進めている点に印象に残りました。また、「誰も取り残さない」という理念のもと、アナログも併用している姿勢は重要だと感じました。

一方で、その実現にはデジタルデバイス（情報格差）対策もしっかり行うことが重要と考えます。さらに、町の取り組みが十分に周知されていない点は課題であり、気軽に相談できる窓口の充実や、図書館などでタブレット貸出、地域イベントの活用などを通じて、楽しくデジタルに触れられる機会を広げるとともに、積極的な情報発信が必要であると感じました。

# 委員会レポート

## 産業厚生常任委員会 子育て支援の更なる充実を

1月27日、子育て支援について、現地視察（駒ヶ嶺保育所）及び調査した。

近年、過去5年間の各年4月1日時点において、待機児童は発生していないものの、入所を希望する保護者に対しては、引き続き丁寧な意思疎通を図るよう努められたい。

防犯対策については、防犯訓練において警察と連携し、さすまたを用いた訓練等が実施されている。一方で、さらなる安全確保の観点から、近隣住民との連携強化にも取り組まれない。

子育て支援については、町民アンケート調査で満足度が低い結果となっていることから、調査結果を十分に分析し、課題の把握と改善に努められたい。また、0歳から18歳までを対象とした各種支援事業について、利用者にとって分かりやすい形で一覧化し、広報の充実を図られたい。

あわせて、保育士の計画的な確保を進めるとともに、子育て支援施策全体のさらなる充実に取り組まれない。

さらに、「子ども誰でも通園制度」については、早急に要綱を整備されるよう求める。



▲駒ヶ嶺保育所を視察

# 総務文教常任委員会

## 災害情報伝達体制の充実を

1月28日、新地町地域防災計画について、令和8年度予算編成の方針について調査した。

### 新地町地域防災計画

災害が発生する前の対策については、情報伝達体制整備・避難体制の確立・防災訓練の充実を図っている。避難訓練は自主防災組織での訓練が重要と考えるが、町内16の組織がある中で、訓練を行う周期に関しては、組織によってかなりばらつきがあり、1年に一度など定期的に訓練を行う事が重要と考える。そのためには行政からの指導・啓発を徹底したい。

し、災害の際には優先して避難を支援できる様、自主防災組織などと連携していく事が必要である。避難の指示及び屋内退避の伝達方法に関しては、防災行政無線・アラート・携帯電話への緊急情報メールサービス・防災メール・広報車・ホームページ・テレビ・ラジオ要配慮者に対する直接電話及び自主防災組織等による声かけ等があり、これらのあらゆる手段を用いて迅速に情報を伝達する必要がある事から、日頃の機器整備や、伝達方法の確認が重要である。

での周知を徹底されたい。

### ○災害時応援協定の締結状況について

災害時応援協定の締結状況については、他自治体や民間事業者合わせ27の相手と災害時応援協定を締結している。大規模災害の際に重要となる仮設トイレは、約60基の保管を依頼しているが、実際に使用できる数は把握しておらず、保管先の企業と協力して確認しておくべきである。

### ○防災関係における制度について

昨年12月に起きた青森県東方沖地震により「北海道・三陸沖地震後発地震注意情報」が発令されたことにより初めて発令された。後発地震注意情報は町民にもあまり馴染みがない事から、その中身について正確な周知を行い、後発地震への注意を促すことが重要である。林野火災注意報・警報の運用については「火の使用の制限」が発令された際、



▲ハザードマップの見直しも予定される

注意報の場合は罰則の伴わない努力義務で、警報は30万円以下の罰金または拘留に処されるなどと、消防法に定められている。町民に対し、周知・徹底していくべきである。

### 令和8年度予算編成

#### ①歳入の概要

歳入については、町税の個人住民税は、雇用・所得改善が続くことが予想され増加を見込んでいます。法人住民税もアメリカの通商政策の影響や人件費上昇、物

#### ②歳出の概要

軽自動車税は、環境性能割が休止されることから減収を見込む。ただし減少分は地方交付税による対応となる。固定資産税は、震災復興特別交付税を含めて各企業の設備等の減価償却により減収を見込んでいます。

予算編成にあたっては、適切な歳入確保(町民税の確な徴収)に努めるとともに、財政規律を堅持し、健全な財政運営に努められたい。また、国・県等の各種事業等の情報収集に努め、町事業への交付金の活用等を積極的に図られたい。

## 新地発電所増設等整備促進特別委員会

3月2日に株式会社JERA、3日に東北電力株式会社、5日に相馬共同火力発電株式会社を訪問し、新地発電所の増設等に関する要請活動を実施しました。



3月5日 相馬共同火力発電(株)にて

## 小・中学校「探求活動発表会」(新地町ジュニア議会)が開催されました



▲堂々と発表する子どもたち

2月26日、町議会議場を活用し、令和7年度町立小・中学校「探究活動発表会(新地町ジュニア議会)」が開催されました。代表の小中学生が町の未来に向けた施策を、町長をはじめ各課長へ堂々と提言。柔軟な発想で活発な議論が交わされました。大人顔負けの鋭い視点と熱意あふれる姿に、町の次代を担う子どもたちの頼もしさを強く感じる一日となりました。

## 議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は、6月初旬開会の予定です。

議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
議会事務局(新地町役場3階) ☎62-2190(直通)

## 議会日誌

### 12月

- 18日 まちづくり懇談会
- 23日 議会広報編集委員会  
新地発電所煙突ライトアップ点灯式

### 1月

- 1日 鹿狼山「日本一早い山開き」
- 7日 議会広報編集委員会  
新春の集い
- 9日 議会広報編集委員会
- 11日 消防出初式  
二十歳のつどい
- 24日 生涯学習フェスティバル2026
- 27日 産業厚生常任委員会
- 28日 議会運営委員会  
第1回新地町議会臨時会  
総務文教常任委員会  
新地発電所増設等整備促進特別委員会  
研修会

### 2月

- 13日 議会全員協議会
- 26日 探求活動発表会
- 27日 議会全員協議会

### 3月

- 2日 新地発電所増設等整備促進特別委員会要請活動(JERA)
- 3日 議会運営委員会  
新地発電所増設等整備促進特別委員会要請活動(東北電力)
- 5日 新地発電所増設等整備促進特別委員会要請活動(相馬共火)
- 6日 第2回新地町議会定例会

# ようこそ新地町へ

## 自然あふれる町

深町地区にお住まいの佐藤 知子さんに、新地町の印象や、町に望むことなど、お話を伺いました。



### プロフィール

佐藤 知子さん (深町地区)  
福島県相馬市出身  
夫と2人暮らし

#### 新地町に居住したきっかけ

自然あふれる鹿狼山と広い田園風景を毎日眺められ、穏やかで暮らしやすそうと思いい、18年前に相馬市から、お隣の馴染みのある新地町に移り住むことになりました。

#### 町の印象は

地域のつながりが深く、町民の方々もとても温かく親切で、穏やかな日々を安心して過ごせています。

1年前に鹿狼アルプホルンクラブの練習に誘われ、アルプホルンの音色に初めて触れ、やわらかく遠くまで広がっていく響きに心惹かれました。「まあるの庭」さんの庭園にて、新地町の



素晴らしい風景と、太平洋の大海原の絶景の中、初めて外で音を出したときの開放感にとっても感動しました。まだ思うように音を出すことはできず、演奏も未熟ですが、鹿狼アルプホルンクラブの皆さんの心優しいお人柄とご指導のもと、いつか聴く人の心に届くような演奏ができるようにアルプホルンの音色と共に楽しんでいきます。

#### 町に望むこと

新地町には現在、日常の買い物ができる場所が限られており、住民にとって不便を感じる場面が少なくありません。地域の利便性と生活の質を高めるためにも新地町にスーパーの開設を希望します。

## 編集後記

3月定例議会では、令和8年度の予算審議を中心に盛り沢山でした。4月から新しい年度がスタートしましたが、「第6次総合計画後期計画」の初年度でもあります。春爛漫の季節を迎えたとはいえ、近年の物価高、世界的な紛争拡大により、エネルギー価格の高騰を招き、情勢が不安定化し、庶民生活にも大きな影を落としています。そんな中で、気がかりなのが、新地町の人口問題です。改訂された第6次計画では、5年後の令和12年度の人口は7000人に修正されました。現在より350人以上の減少です。人口減少は、日本の自治体全体の問題で、新地町だけではありません。しかし、深刻に捉える必要があります。全町民で知恵を絞って、対策に取り組んでいく時です。(村上 勝則)

### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 村上 勝則 |
| 副委員長 | 吉田 博  |
| 委員   | 八巻 秀行 |
| 委員   | 牛坂 毅志 |
| 委員   | 大内 広行 |